

問1 1873年から実施された地租改正では、当初、税率は地価の3%と定められていました。しかし、負担の重さに苦しむ農民による反対一揆が各地で激化したため、明治政府は1877年に税率を何%に引き下げましたか。（2019年 大阪公立入試 類似）

1. 1% 2. 2.5% 3. 3.5% 4. 5%

問2 明治時代、フランスの思想家ルソーの『社会契約論』を翻訳・紹介し、国民の権利や自由を説いて「東洋のルソー」と呼ばれた人物は誰ですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 福沢諭吉 2. 中江兆民 3. 板垣退助 4. 田中正造

問3 明治政府が新橋と横浜の間に日本初の鉄道を敷設した背景や目的として、最も適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 欧米の技術を導入することで、近代化（文明開化）の成果を国内外に示すため
2. 江戸時代の鎖国体制を強化し、外国人の移動を制限するため
3. 全国の藩主が参勤交代を行うための移手段を確保するため
4. 北海道の石炭を効率よく東京へ運ぶためのルートを確立するため

問4 大日本帝国憲法における、天皇の地位と権限に関する記述として最も適切なものを選択してください。（2026年 青森公立入試 類似）

1. 天皇は国の元首であり、統治権を総攬（すべてあわせ持つ）する立場とされた
2. 天皇は国政に関する権限を持たず、日本国および日本国民統合の象徴とされた
3. 天皇は行政権のみを持ち、立法権は帝国議会在立して行使するものとされた
4. 天皇の権限は内閣の助言と承認に基づく儀礼的なものに限定されていた

問5 1873年に始まった地租改正は、それまでの収穫高に応じた年貢に代わり、地価を基準に一定の税率を現金で納税させるものとした。しかし、この改革は農民にとって非常に重い負担であったため、各地で激しい反対一揆が起こりました。こうした情勢を受け、明治政府が1877年に実施した具体的な措置として正しいものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 地価の3%としていた税率を2.5%に引き下げた
2. 課税の基準を地価から再び収穫高（作物の量）に戻した
3. 年貢の割合を江戸時代のような「四公六民」に固定した
4. 農民が民間から借りていた借金をすべて政府が肩代わりした

問6 新橋・横浜間の鉄道が開通した1872年に、政府が公布した「学制」の内容や方針として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2016年 高知公立入試 類似）

1. 身分や男女の区別なく、すべての国民が小学校教育を受けることを目指した
2. 天皇への忠誠や愛国心を育てることを教育の最優先事項として定めた
3. 各藩が運営していた藩校をそのまま存続させ、士族の英才教育を強化した
4. 国家が教育費のすべてを負担し、教科書を無償で配布することを決定した

問7 明治時代の初期には、西洋の文化や制度が取り入れられ、人々の生活様式が大きく変化しました。この「文明開化」と呼ばれる時期の出来事の説明として、適切でないものはどれですか。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. 旧暦が廃止され、欧米と同じ太陽暦が採用された
2. 都市部では、西洋風の煉瓦造りの建物が建設され、ガス灯が設置された
3. 教育の理念を定めるため、教育基本法が制定された
4. 情報を広く伝えるため、新聞や雑誌が発行されるようになった

問8 明治政府が行った地租改正の内容について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 愛媛公立入試 類似）

1. 課税の基準を収穫量から地価に変更し、地価の三パーセントを現金で納めるようにした。
2. 課税の基準を耕作面積から収穫量に変更し、収穫量の三パーセントを米で納めるようにした。
3. 課税の基準を地価から収穫量に変更し、収穫量に応じた現金を納めるようにした。
4. 課税の基準を収穫量から地価に変更したが、納入については従来通り米で納めるようにした。

問9 1870年代前半、明治政府が欧米の先進的な制度や技術を視察するために派遣した岩倉使節団には、最年少の女子留学生としてある人物が同行していました。アメリカでの長期留学から帰国後、日本の女子教育の地位向上を目指して女子英学塾（現在の津田塾大学）を創設した人物は誰ですか。（2020年 愛媛公立入試 類似）

1. 津田梅子 2. 樋口一葉 3. 与謝野晶子 4. 平塚らいてう

答え合わせ・解説

問1	答え 2 2.5%	明治政府は当初、財政を安定させるために地価の3%を現金で納めさせる地租改正を行いました。農民の負担が旧来と変わらず重かったため、各地で大規模な反対一揆（地租改正反対一揆）が起りました。これを受けて政府は、土族の反乱などが続く不安定な情勢の中で農民の不満を和らげるため、1877年に税率を2.5%へ軽減しました。
問2	答え 2 中江兆民	フランス留学で学んだ中江兆民は、ルソーの思想を漢文に訳した『民約訳解』を著しました。この著作は、国民が国家と契約を結ぶことで権利を得るという民主主義の考え方を広め、当時の知識人や運動家に大きな影響を与えました。
問3	答え 1 欧米の技術を導入することで、近代化（文明開化）の成果を国内外に示すため	明治政府は、日本が近代国家であることを世界に示すために、鉄道などの交通インフラの整備を急ぎました。1872年の鉄道開通は、人々の生活や意識が大きく変わる「文明開化」の象徴となりました。これにより、それまでの徒歩や馬による移動に代わり、機械による迅速な大量輸送が可能になるという社会の変革を具体的に示す狙いがありました。
問4	答え 1 天皇は国の元首であり、統治権を総攬（すべてあわせ持つ）する立場とされた	大日本帝国憲法第4条には「天皇は国の元首にして統治権を総攬し」と明記されていました。これにより、陸海軍の指揮権（統帥権）や官吏の任命権など、広範な権限が天皇に帰属する仕組みとなっていました。これは主権が国民にある現在の日本国憲法とは大きく異なる点です。
問5	答え 1 地価の3%としていた税率を2.5%に引き下げた	明治政府は当初、財政を安定させるために地価の3%を地租として現金で徴収しようとしていましたが、これは江戸時代の年貢に匹敵する重い負担でした。各地で発生した地租改正反対一揆や、土族による反乱（土族授産の不満など）が重なる中、政府は農民の不満を和らげるために、1877年に税率を地価の2.5%へ引き下げる決断を下しました。
問6	答え 1 身分や男女の区別なく、すべての国民が小学校教育を受けることを目指した	学制は「村に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん」という理念のもと、国民全員に教育を普及させようとしたものです。これは富国強兵や殖産興業を支える人材を育成する目的がありました。当時はまだ授業料が家庭負担であったため、生活が苦しい農民などによる反対運動も起りましたが、近代化の重要な一歩となりました。
問7	答え 3 教育の理念を定めるため、教育基本法が制定された	教育基本法は、第二次世界大戦後の1947年に、日本国憲法の精神に基づいて民主的な教育を進めるために制定された法律です。明治初期の教育に関する改革としては、1872年に「学制」が公布され、満6歳以上の男女すべてに小学校教育を受けさせることが目指されました。
問8	答え 1 課税の基準を収穫量から地価に変更し、地価の三パーセントを現金で納めるようにした。	明治政府は、近代国家の基礎を固めるために租税制度の抜本的な改革を行いました。それまでの年貢は米の収穫量を基準として米で納めていたため、天候による豊作・不作によって政府の収入が変動するという不安定さがありました。地租改正では、土地の価格である「地価」を基準に、その三パーセントを税率として「現金」で納めさせる仕組みに改められました。
問9	答え 1 津田梅子	1871年に岩倉具視を代表とする岩倉使節団が派遣された際、当時6歳だった津田梅子は5人の女子留学生のうち一人として渡米しました。帰国後、彼女は日本の女性が自立した社会人として活躍するためには高度な専門教育が必要であると考え、1900年に女子英学塾を創設しました。なお、五千円札の肖像にも採用されています。